

## B & G海洋教室に22人 潮風浴びマリンスポーツに親しむ

町B & G海洋センター艇庫で、7月12日に海洋教室が開かれました。これは、水辺で安全に行動する方法やマリンスポーツの楽しさを学んでもらおうと同センターが主催したもので、町内の小中学生22人が参加。潮風を浴びながらカヌーやスタンドアップパドルボードなどを体験しました。子どもたちは指導員から安全面や乗り方などの指導を受けると、怖がることなく海上を滑走。バランスを取るの難しいスポーツですが、すぐにコツを掴み、自由自在に艇を操り、楽しそうに海上を行き来していました。



## 「山田にぎわい市」に1,863人 道の駅やまだで催し楽しむ

6月29日、「山田にぎわい市」が初めて道の駅やまだを会場に開かれました。これは、以前開催されていた市日にならって地域経済の活性化などを図ろうと行われたもので、町内外から延べ1,863人が来場。会場内では農産物や水産加工品、海鮮焼きなどが販売されたほか、「恵比寿まき」や「おたのしみ抽選会」などのイベントが行われ、さまざまな催しを楽しむ来場者の姿が見られました。最後には山田大神楽から華やかなおはやしと軽やかな舞が披露され、会場から大きな歓声が寄せられていました。

## B & Gバドミントン大会に22人 館内にスマッシュ音響き渡る

パァンと体育館内にスマッシュ音が響き渡ります——。7月6日、町B & G海洋センター体育館で第43回山田町B & Gバドミントン大会が開かれ、町内各地から5チーム22人が参加しました。選手たちは、ロブやスマッシュを織り交ぜながら、相手コートへ正確にシャトルを打ち込み、白熱した試合を展開。ラリーが続くたびに観客から歓声上がり、体育館はシャトルを打つ乾いた音と熱気に包まれていました。競技の結果、「ラブター」(航空自衛隊山田分屯基地)が見事、優勝を勝ち取りました。



## 波岡賞杯争奪町民卓球大会に15人 ラリーにさわやかな汗光る

7月13日、第39回波岡賞杯争奪町民卓球大会が勤労者体育センターで開かれました。団体戦と個人戦(男性の部、女性の部)で行われたこの大会には、町内各地区から5チーム15人の卓球愛好者たちが参加。軽快なフットワークでラリーを展開したりスマッシュを決めたりするなど、さわやかな汗を流していました。競技の結果、団体戦は山田Cチームが優勝。個人戦は、男性の部に稲川三男さん、女性の部に堀合洋子さんが見事、優勝を飾りました。



# 町のわだこ

今月の題字 千葉 伊菜さん（豊間根小3年）

## 山田中学校で「お祭りサミット」 山田の神幸行事の魅力学ぶ

7月10日と15日、山田中学校（八幡一臣校長、生徒278人）で「お祭りサミット」が開かれ、全校生徒が参加しました。これは、生徒たちの発案で昨年始まった「山田の秋祭りに全校生徒が参加する」活動の一環で、お祭り開催を前に、生徒たちがお祭りへの理解を深めることを目的としています。15日には、山田八幡宮の佐藤明徳宮司をはじめ、郷土芸能8団体の関係者が来校し、山田の神幸行事の歴史や魅力、各芸能の由来や特色を説明。その後、各団体による華やかな舞が披露されると、会場はお祭りムードに包まれ、大きな盛り上がりを見せていました。



## 豊間根小学校でシイタケ植菌体験 地元で育つシイタケの魅力学ぶ

6月11日、町主催の「しいたけ学習・植菌体験」が開かれ、豊間根小学校（吉田智校長、児童100人）の4年生22人が参加しました。講師には、6月に全農乾椎茸品評会で農林水産大臣賞を受賞した椎茸職人の芳賀隆さんと日本きのこセンターの米澤秀行さんが登壇。地元で育つシイタケの魅力や育て方を説明しました。その後の植菌体験では、1センチ程度に切り分けられたほだ木にシイタケの菌糸を培養した約3センチの木片（種こま）を打ち付ける作業を体験。金槌を使う難しい作業でしたが、児童たちは「大きくなってね」と掛け声をかけながら作業を楽しんでいました。



## 山田小学校が「海の生き物学習」 身近な海の生物への理解深める

町が主催する「海の生き物学習」が6月12日に船越のしもかわ公園で開かれ、山田小学校（佐々木哲也校長、児童424人）の2年生77人が参加し、身近な海の生物への理解を深めました。当日は、鯨と海の科学館の職員が地元の海に生息する生き物の種類などを解説。その後、子どもたちは、バケツを手に磯場を散策し、岩の下に潜むヒトデやカニ、貝の仲間を見つけては観察した様子を専用の記録ノートに書き込んでいました。参加した下村彩緒里さんは、「海にこんなにもたくさんの生き物がいることが知れてよかったです」と笑顔で話していました。

